



第9期「こども病院ボランティア養成講座」受講者募集



主催：NPO 法人 こども医療支援 わらびの会 後援：県立南部医療センター・こども医療センター

「県立南部医療センター・こども医療センター」では、20代～70代の方々がボランティアとして活動しています。『病院ボランティアってなんだろう？』 知ることからはじめてみませんか？

開催日時：平成 22 年 8 月 28 日（土）9 時～17 時（昼食は各自で用意。売店・食堂もあります）

開催会場：県立南部医療センター・こども医療センター

2 階講堂（南風原町字新川 118-1）

定員
25 名

対象者：病院ボランティアを希望する方・病院ボランティアに関心のある方

受講料：3,000 円（学生は半額。振込み手数料のご負担お願いします）

振込先：琉球銀行本店 口座番号 164461 普通預金 口座名 こども医療支援わらびの会

申込み方法：別紙申込書又はハガキかメール、FAX で必要事項を記入して下記へ送付

（必要事項：氏名・年令、職業、住所・電話・FAX・e-mail、応募の動機、ボランティア経験の有無）

～ 病院内での活動の様子 ～



小児外来クリスマス



手作り
クリスマスプレゼント



節分



もちつき大会



小児病棟盲導犬イベント



プレイルーム



～ 養成講座の様子 ～

～受講者の声～

- ボランティアのイメージが変わって、役に立てるよう頑張りたい。
- 大学で学ぶことを活かして、ボランティアに参加したい。
- 病児だけでなく、家族にも目を向けることが大切。
- 病院でのボランティアの役割をしつけてよかったです。

申込み〆切：平成 22 年 8 月 20 日（金曜日）必着

講座の内容

～病院オリエンテーションと施設見学～

- 病院ボランティアとは-看護の立場・きょうだいの支援から-藤村 真弓（茨木キリスト教大学看護部教授）
- 私たちが望むボランティア - 看護の立場から - 前川 卉子（こども医療センター・小児ボランティアコーディネーター）
- 医師の立場から - 金城 うかき 僚（こども医療センター・小児科医）
- ボランティアに必要なマナー 佐渡山 美智子（フリーアナウンサー）
- ボランティア実践を通して感じたこと

①小児外来での活動をとおして②小児病棟での活動をとおして③親の立場から感じたこと

- まとめ - こんなボランティアになりたい - 受講者全員による討論

※ ボランティア実習・登録（8/31（火）～9/3（金）14:00～16:00 <4 日間のうちのいずれか 1 日>）

※ ボランティア登録にあたって・・・①ボランティア活動保険（自己負担：280 円／年）への加入。

②「健康診断書」をこども医療センター総務課へ提出。 をよろしくお願ひします。



【申込み・問合せ先】

NPO 法人 こども医療支援 わらびの会事務局

〒903-0804 那覇市首里石嶺町 4 丁目 373-1 沖縄県総合福祉センター内 西棟 2 階

TEL&FAX : 098-888-6605 E-mail : info@ warabinokai.org

<http://www.warabinokai.org>